

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市アイスアリーナ（新潟アサヒアレックスアイスアリーナ）				
管理者名	㈱新潟パティネージュ	指定期間	平成26年2月1日	～	平成41年3月31日
担当課	文化スポーツ部スポーツ振興課				
所在地	新潟市中央区鐘木257-17				
根拠法令					
設置条例					
施設概要	敷地面積 9,994㎡、 建築面積 5,440㎡、 延床面積 5,499㎡ 建築規模 鉄骨造地上2階建 主な諸室 メインリンク（30m×60m国際規格）、サブリンク（15m×45m）、 観客席998席（固定席688席・可動席232席・仮設席78席）、選手更衣室、休憩軽食コーナー 多目的室、おやこルーム、会議室、救護室、事務室				

施 設 設 置 目 的

市民の健康増進及び氷上スポーツの普及・振興を主な目的に、市民の交流、地域の活性化を促進し、本州日本海側唯一の通年型氷上スポーツ施設として、市県外からの交流人口の拡大を図ることを目的として設置する。

管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等

（１）施設の利用促進
 【課題】
 ・施設利用者のニーズに応え、リーズナブルで利便性の高いサービスの提供に努める。
 ・施設を有効活用して、さまざまな人々が集い交流できるスポーツ施設とする。
 ・障がい者等の利用に配慮し、誰でも気軽に利用できる施設とする。
 （２）氷上スポーツの普及振興
 【課題】
 ・氷上スポーツ教室や競技会・イベントの運営、支援、氷上スポーツの普及・振興に積極的に寄与する。
 ・校外活動や団体利用を積極的に受け入れ、氷上スポーツの普及に努める。
 （３）施設が安全かつ快適に利用できる品質、水準の保持
 【課題】
 ・良質な氷の環境とし、安全で気持ち良く滑走できるリンクとする。
 ・施設的环境を良好に保ち、施設利用者の健康被害を防止する。
 （４）省資源、省エネルギーに努めた管理の実施。
 【課題】
 ・館内の適切な温湿度管理を行い、省エネによる維持管理費の低減、CO2排出量の削減に努める。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	ホームページ等による情報提供を 月2回以上更新	月平均3回	B	HPを積極的に活用した情報発信は評価できる。
		ホームページアクセス数 年間250,000件以上	100,416	C	利用者が必要とする情報を的確に捉え、タイムリーに情報を発信し、アクセス数を増やすことで、利用者数の増加を図ること。
	基準利用者数の達成	施設利用者数(リンク利用者)年間140,000人以上	123,398	C	広報など積極的なPRなどを行い申込者数の増加を図ること。
		氷上スポーツ申込者数 7,800人以上	5,579	C	広報など積極的なPRなどを行い申込者数の増加を図ること。
		校外活動利用数220団体以上	219	C	広報など積極的なPRなどを行い申込者数の増加を図ること。
		団体利用数190団体以上	143	C	広報など積極的なPRなどを行い申込者数の増加を図ること。
	基準稼働率の達成	年間稼働日数364日以上	365日稼働	B	
		専用利用率(利用日数/365) 95%以上	98.63%	B	
		氷上スポーツ教室 開催数 500回以上	477	C	スケジュール調整を行い開催数の増加をはかること。
	設置目的に合致したサービス提供	送迎バス利用者8,000人以上	3,204人	C	自家用車以外での利用者の獲得のため、PR方法の再検討・強化を図ること。
		氷上スポーツ教室に継続して2か月以上参加数1,600件以上	1,414件	C	教室内容を見直し、魅力ある教室の開催を図ること。
		スケート教室指導員参加者20人以上に対し1人以上配置	全教室配置	B	適切に対応した。
		飲食・物販サービスに対する満足度で「満足」が70%以上	57%	C	利用者のニーズを捉えたサービスの提供に努めること。
		接客に対する満足度で「満足」が90%以上	81%	C	利用者のニーズを捉えたサービスの提供に努めること。
財 務	エネルギーの効率的な利用	水光熱費を年間 27,000,000円以下	22,057,282	A	目標を大きく上回っており評価できる。今後も経費の削減の取り組みに期待する。
	管理運営経費の削減	管理運営経費を年間 50,000,000円以下	53,618,940	C	27年度よりは下回ったが、評価指標以下とはならなかった。さらなる削減の強化を行ってほしい。
業 務	施設・設備に起因する苦情、事故	0件	0件	B	適切に対応した。
	法令で規定する点検検査の実施	100%	100%	B	適切に対応した。
	防災訓練の実施	年2回以上	2回実施	B	適切に対応した。
	事業計画、事業報告の適切さ	連絡会議月1回以上	月1回実施	B	適切に対応した。
	業務仕様書	業務仕様書等に定める事項の遵守	要求水準以上の業務を実施	B	適切に対応した。
人 材	従業員のスキルの習得	職員研修を年6回以上実施	8回実施	A	目標を大きく上回っており評価できる。
	外部研修・講習会の受講	年1回以上受講	3回受講	A	目標を大きく上回っており評価できる。
	人員条件の充実	氷上スポーツ講師資格者1人以上	2人	A	氷上スポーツ普及のため目標数以上の雇用を行っており評価できる。
		スケート監視員可能スタッフを10人以上雇用	17人	A	利用者の安全のため目標数以上の雇用を行っており評価できる。
		救護に関する有資格者3人以上	3人	B	適切に対応した。
労働基準の充足	労働基準法の遵守	違反行為無	B	適切に対応した。	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

利用者数に関する各項目においては、初年度の数字が目標基準となっている為、全体的に差が目立つ結果となっております。
また、飲食・物販サービスに対する満足度が低い結果となりましたので、来期は休憩スペースを拡大改修工事を行い、飲食の提供においては人気ベーカリーショップの出張販売を行い、改善に努めます。

所管課による総合評価（所見）

従業員のスキルや人員条件の充実が目標をクリアしており、氷上スポーツの普及促進の体制構築の観点において評価できる。また、エネルギーの効率的な利用に成果がみられているため、今後も継続してもらいたい。一方で個人利用者数、団体利用者数、校外利用者数は目標を下回っているため、広報などを充実させて利用者の獲得に努めてもらいたい。さらに、飲食・物販サービスや接客の満足度も目標を下回っているため、利用者のニーズを的確に捉えて改善に努めてもらいたい。